

50. 鱈ヶ沢町における津波防災に関する事業

(学外対応分)

実施時期又は期間等

平成23年3月16日	鱈ヶ沢町における津波避難に関する検討会
7月～10月	鱈ヶ沢町における標高調査
9月20日	西海小学校防災教室開催
11月8日	鱈ヶ沢町中学校講演会
平成24年3月3日	鱈ヶ沢町地域づくり研修会の講師（津波防災）
2月～3月	鱈ヶ沢鳴沢川下流域の津波堆積物調査
9月21日	西海小学校ワークショップ開催
9月24日	鱈ヶ沢中学校防災講演会
10月5日	舞戸小学校ワークショップ開催

対応部局及び人員

教育学部教員 延べ9名
大学院生、学生 50名

実施の背景・目的

鱈ヶ沢町は、東北地方太平洋沖地震津波の際には大津波警報がでていたにもかかわらず、沿岸部の避難率が約5%と極めて低く、防災に対する意識が決して高い地域ではないことが判明した。町民の津波防災の意識を高め、防災力を高めるために各事業を実施した。

実施概要

鱈ヶ沢町における津波を中心とした災害への対策を行うため、町内の標高調査、小学校・中学校・一般むけの講演会やワークショップを開催した。

また、歴史時代以前の津波堆積物の有無に関する調査も行い、長期的な被害の状況も明らかにしつつある。

効果又は結果

町全体として取り組んでいる事業の成果もあり、以前よりも意識の向上がみられ、避難場所・避難経路など住民主体で検討が進められ、一定の効果がでているものと判断できる。しかし、一部住民に限られていることから、このような防災意識を広めることが急務であると思われる。

担当部局名

教育学部



西海小学校における防災教室



鱈ヶ沢町における標高調査



鱈ヶ沢町における防災ワークショップ



鱈ヶ沢町鳴沢地区における津波堆積物調査